

『高松市病院事業経営健全化計画(平成30年度～令和2年度)』の取組状況に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書【平成30年度の評価】

令和元年11月13日
高松市立病院を良くする会
会長 谷田 一久

1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、医療の質、透明性及び効率性の向上並びに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、主に「高松市病院事業経営健全化計画」（以下「経営健全化計画」という。）の策定、見直し及び進捗状況の評価を行う外部評価組織として平成23年6月に設置され、今年で9年目を迎える。

今般、平成30年度の経営健全化計画の取組状況の評価を、次のとおり取りまとめたので報告する。

2 評価結果の総括

平成30年3月に策定した第3次経営健全化計画（平成30年度～令和2年度）において、高松市立病院の基本理念『生きる力を応援します』を定め、その実現に向けて、高松市民病院と香川診療所が移転統合し、平成30年9月からスタートした「みんなの病院」では、「急性期病院としての医療機能の充実」を、塩江分院は「地域まるごと医療の実践」を基本的な考え方として、公営企業として求められる「医療の質・透明性・効率性」の向上に取り組んでいる。

今回の評価対象となる平成30年度は、上記経営健全化計画の初年度であり、評価項目28項目中、27項目が「順調」又は「概ね順調」という結果になっており、一定の成果は認められた。しかしながら、病院移転に伴う入院患者数の調整による収入減、また、施設規模拡大による、経費増の影響などから、29年度に引き続き、運転資金を一般会計から借入れる措置をとるなど依然として厳しい経営状態である。

地域に必要な医療を継続して提供していくためには、がん医療や救急医療、地域包括ケア等の後方支援機能の強化とともに、患者の確保につながる取組を再検討しながら、あらゆる観点から医療の効率性の確保に努め、経営改善に取り組むことが必要である。これまでの取組を改めて評価・検討し、「市民に信頼され、市民から選ばれる病院」となるよう期待したい。

3 評価結果

(1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、平成30年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行った。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である。	目標を達成した、又は目標達成と同程度の具体的成果が得られた。
○	概ね順調である。	目標達成のための取組を進め、年度末(一定期間経過後)に、目標達成と同程度の具体的成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている。	目標達成のための取組が不十分又は、取組を進めるものの、年度末(一定期間経過後)に、成果が得られる見込みが少ない。
×	かなり遅れている。	消極的又は、目標達成のための取組ができていない。

(2) 病院・診療所の評価結果

① みんなの病院

経営健全化計画に係る取組状況については、14項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は3項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は11項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目及び『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で100%となった。

全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

救急医療の推進や常勤医師数の増加へつなげた医師確保機能の強化、災害拠点病院の承認に伴う災害医療機能の強化、地域医療機関への積極的な訪問による地域医療連携の推進などは一定の評価ができるものの、依然として厳しい経営状況であることから、これまでとは異なるアプローチについても、改めて検討する必要がある。

また、医療の質の向上について、みんなの病院独自の評価基準を作成する等、質の向上を担保する仕組みの構築にも努められたい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H30	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	3項目	21%
評価結果『○』とした項目	11項目	79%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	14項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	H30 総括 評価	H29 総括 評価	H28 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保に向けた取組			
1 医療技術			
1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	◎	○	○
2 医師確保機能の強化	○	○	○
3 メディカルスタッフ確保機能の強化	○	◎	◎
4 医療安全の強化	○	○	○
5 医療品質の向上	◎	◎	○
6 災害医療機能の強化	○	◎	◎
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	○	○	○
2 市民との信頼関係の強化	○	○	◎
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○	○	○
4 地域社会			
1 地域医療連携の強化	○	○	◎
2 医療の透明性の確保に向けた取組			
1 情報発信			
1 情報発信	◎	○	○
3 医療の効率性の確保に向けた取組			
1 効率化			
1 効率化の推進	○	○	○
2 管理体制			
1 管理体制の強化	○	○	○
3 一体化			
1 一体化の推進	○	○	○

総合評価	○	○	○
------	---	---	---

(2) 病院・診療所の評価結果

② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、13項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は2項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は10項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は1項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で92%となった。

全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

訪問診療や訪問看護等を通じた地域医療の推進や、交通手段を持たない地域住民のための患者送迎バスの運行など患者の視点に立ったサービスの提供等に着実に取り組んでおり、評価できる。

今後は、地域包括ケアシステムにおける塩江分院の役割を十分に認識し、地域のニーズをふまえた医療サービスを提供することで、「地域まるごと医療」の更なる実践に努められたい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H30	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	2項目	15%
評価結果『○』とした項目	10項目	77%
評価結果『△』とした項目	1項目	8%
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	13項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	H30 総括 評価	H29 総括 評価	H28 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保に向けた取組			
1 医療技術			
1 地域医療の推進	○	○	◎
2 医師の確保機能の強化	○	○	○
3 スペシャリストの育成	○	○	○
4 医療安全の強化	◎	◎	◎
5 医療品質の向上	△	◎	◎
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	○	○	○
2 市民との信頼関係の強化	○	○	◎
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○	◎	◎
4 地域社会			
1 共に支え合う体制の整備	○	○	◎
2 医療の透明性の確保に向けた取組			
1 情報発信			
1 情報発信	○	◎	◎
3 医療の効率性の確保に向けた取組			
1 効率化			
1 効率化の推進	○	○	○
2 管理体制			
1 管理体制の強化	○	◎	○
3 一体化			
1 一体化の推進	◎	◎	◎

総合評価	○	○	◎
------	---	---	---